

# 県主小タイムズ



令和5年11月17日 発

## 『ライジング フェスタ in あがた』が 教育のシフトチェンジの大切さを実感!!

子供たちが「自分の思いを語る」「相手の思いを聞き合う」ことで**成長する場**、そして、子供たちがこだわって研究・練習したことを「**認めてもらえる**」場、それが「**ライジング フェスタ in あがた**」でした。

当日、子供たちはたいへん「わくわく」していました。それは、子供たちがこだわりをもって研究・練習したことを、「**知ってもらえる**」「**質問してもらえる**」「**分かってもらえる**」など、じかに反応してもらえる**たくさんの保護者や地域の方々**と**出会える**からです。

そして、本番。目の前にあまり知らない人（親、地域の方）がいます。子供たちは**初めは緊張**しながらも自分の研究・練習したことを語ります。1回目より2回目、2回目より3回目。**自分たちの語りの姿を振り返りながら、なんと自分たちで修正し、次はこうしようと行動に移しているではありませんか。**回を追うごとに、**大人を相手に堂々と、しかも臨機応変に対応している姿**があちこちにありました。



このフェスタのねらいは、**子供たちの「コミュニケーション能力の向上と自信の獲得」**。未来を見据えた**新しい教育の目指す内容**です。子供たちは私たち教員が思っている以上に、これまで学んだり研究したり練習してきたことを皆さんに語りかけ、**皆さんとやり取りをしながら自信を高め、大きな第1歩を踏み出すことができました。**

### 大人のめあて

- ★子供たちを**成長させる**。
- ★子供たちに**反応**してください。（拍手、感想、ほめる、質問等）

これも、保護者・地域の皆さんが、左のようなめあてを胸に、**子供たちを成長させようと関わってくださったお陰**です。心より感謝申し上げます。

この日、**子供たちの成長した姿を目の当たりにして、教育のシフトチェンジをすることの大切さを切に実感**することができました。今後も、子供たちが**予測困難な激動の社会の中で**

**もししっかりと生き抜く力を身につけることを意識した教育活動を、皆さんと推進していけたらと考えています。**

どうぞよろしく願いいたします。



# ライジング☆スタinあがた を振り返って

## 学校生活に生き生きと働いている元気アッププロジェクト

現代は、調べればすぐに情報を得ることのできる時代。子供たちは、インターネットで知る情報だけに頼るのではなく、フェスタに向けての願いを自分事として課題を乗り越えようとする姿がたくさん見られました。

「睡眠」→よりよい睡眠の環境づくり

「かむ」→オリジナルグミで噛む習慣づくり

「体操」→いつでも誰でもスッキリ体操

「考える」→「考えるシート」で頭も心もスッキリ

それぞれのテーマの見方を広げることで、発表することだけが目的ではなく、地域みなさんにこだわりをもって伝えたいと探究してきました。

本番では、取り組んできた一つ一つが、子供たちの自信につながり、その後の学校生活に生き生きと働いています。



## 観客と共に歌声を響かせたフェスタ!!

「劇 魔法を捨てたマジョリン」を披露した5・6年生は「からを破り合おう～自分から相手へ～」というテーマを常に意識しお互いに声を掛け合いながら練習に取り組んできました。

当日、観客のみなさんとの歌声が体育館中に響いた時の気持ちよさは格別なものでした。会場の皆さんが5・6年生一人一人の思いを受け止め、応えてくださったおかげです。この経験が今後の学校生活に、そしてこれからの人生に生かしてくれると嬉しいです。



## 感謝!! 温かい保護者の声!!

個々の個性が出ていて、子供たちは一生懸命に準備をしているなあと感じました。我が子は一人で、説明→案内→質問にも答えないといけないとバタバタしていましたが、先生にも助けをもらいながら、説明はちゃんと目を見て来てくださった方に話もできていました。私も主人も、ずっと引っ込み思案だった子供が、堂々と嬉しそうに知らない人にでも話していたことに、とても嬉しく思いました。(略)

すばらしいフェスタ発表ありがとうございました。(略) 今回のフェスタも、生徒の皆さんと保護者が一体となって、問いかけに答えたり一緒に歌ったり…とたくさんコミュニケーションできて楽しかったです。また、お客さんのアドリブ反応に受け答えしたりユーモアで返したりできて、すごいなと思いました。(略) 全学年の発表が見られると嬉しいし、子供たちの励みになると思います。(略)

※アイデアを出して、子供たちの活躍をたくさん見られるようにしたいです!!